

S M B C ・ 日 興 世 銀 債 フ ァ ン ド

(愛称：世界銀行グリーンファンド)

ファンドの概要

設定日 2010年2月19日
償還日 2019年10月21日
決算日 原則毎月20日
収益分配 決算日毎

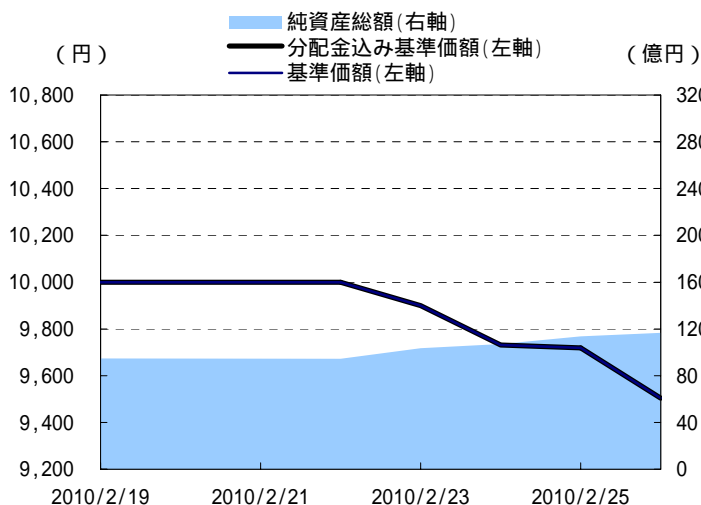
ファンドの特色

1. 相対的に利回りの高い世界銀行債券を中心に投資します。
2. 毎月の安定分配をめざします。
3. 「日興マネー・アカウント・ファンド」とのスイッチング(乗換え)ができます。

運用実績

< 基準価額の推移 >

このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。当レポートのグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。



基準価額 : 9,504円

純資産総額 : 116.53億円

< 基準価額の騰落率 >

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-	-	-	-	-	-4.96%

基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

分配金込み基準価額の推移は、分配金(税引前)を再投資したものを表示しています。

基準価額は、信託報酬(年率1.255%(税抜1.21%)程度)控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

< 資産構成比率 >

WBグリーンファンド クラスA	99.4%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%
その他	0.5%

< 分配金実績(税引前) >

設定来合計	直近12期計				
0円	0円				

< 基準価額騰落の要因分解 >

設定時基準価額	10,000円
当月お支払いした分配金	0円
要	
ブラジルリアル	-85円
メキシコペソ	-39円
トルコリラ	-103円
コロンビアペソ	-38円
南アフリカランド	-26円
ハンガリーフォリント	-16円
ロシアルーブル	-36円
オーストラリアドル	-45円
ニュージーランドドル	-52円
イギリスポンド	-25円
ノルウェークローネ	-21円
債券・その他	-11円
当月末基準価額	9,504円

上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

WBグリーンファンドクラスAのポートフォリオの内容

日興アセットマネジメント ヨーロッパ
リミテッドより提供された情報です。

< 外国通貨別構成比 >

通貨名	比率	うちグリーンボンド
トルコリラ	16.9%	8.0%
ブラジルレアル	15.7%	15.7%
ノルウェークローネ	11.0%	11.0%
メキシコペソ	9.9%	8.8%
南アフリカランド	8.3%	8.3%
ニュージーランドドル	8.2%	8.2%
オーストラリアドル	8.0%	8.0%
ロシアルーブル	7.0%	7.0%
コロンビアペソ	6.0%	6.0%
ハンガリーフォリント	4.2%	4.2%
イギリスポンド	4.1%	0.0%

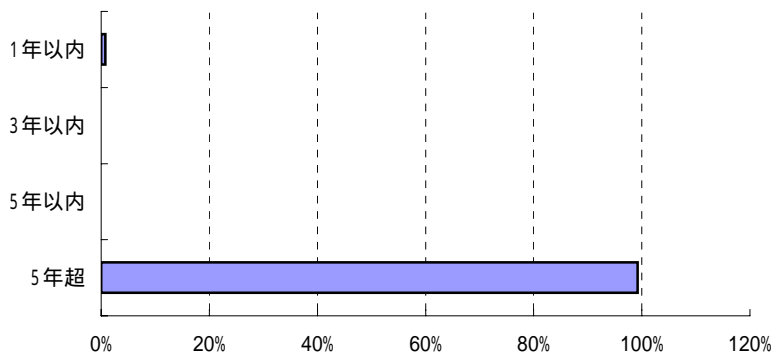
< 格付別構成比 >

Aaa	99.2%
Aa	0.0%
A	0.0%
Baa以下	0.0%
平均格付	Aaa

比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
格付はMoody's、S&Pのうち、高い格付を採用しています。

比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

< 残存別構成比 >



比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
変動利付債は次回利払い日までの日数で計算しています。

< 公社債種別構成比 >

世界銀行債券	99.2%
うちグリーンボンド	85.0%
ソブリン債他	0.0%

比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
ソブリン債は国債、政府機関債、政府保証債、
国際機関債などです。

< ポートフォリオの特性値 >

最終利回り	7.48%
デュレーション	6.09年
組入債券の銘柄数	13銘柄

最終利回りは、個別債券および短期金融資産
について加重平均したものです。
最終利回りは、債券および短期金融資産を満
期まで保有した場合の利回りです。
将来得られる期待利回りを示すものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

投資環境

<中南米>

【ブラジル】ブラジルレアルは円に対して下落しました。経済指標は引き続き力強い回復を示唆しており、12月の小売売上高は前年同月比で大きく増加しました。

【メキシコ】予想よりも強いGDP統計が通貨を支えたにも拘わらず、メキシコペソは円に対して値下がりしました。12月の小売売上高が伸び、第4四半期の経済成長率は前四半期に比べ増加しました。

【コロンビア】憲法裁判所が、 Uribe 大統領の三選を可能にしないとの判断を下したため、コロンビアペソの円に対する下落は小幅にとどまりました。Uribe 大統領が国内外から支持されているとはいえ、コロンビアが民主主義憲法における規定を遵守する姿勢を示したという意味で、この結果は前向きに受け止められています。

<アジア・オセアニア>

【オーストラリア】オーストラリアドルは円に対して下落しました。2月の会合で予想に反してオーストラリア準備銀行が金利を3.75%に据え置いたことが市場心理に大きく影響を及ぼしています。

【ニュージーランド】12月の小売売上高が予想を下回り、ニュージーランド準備銀行が当面は利上げを実施しないのではと予想されたことから、ニュージーランドドルは円に対し下落しました。

<ヨーロッパ・中東>

【トルコ】トルコリラは円に対して下落しました。ギリシャの問題から大きく影響を受けたことに加え、2003年にクーデター計画に関与した容疑で、政府が多くの元軍人を逮捕したトルコ国内の政治事件も影響しています。

【ノルウェー】ノルウェークローネは他の欧州通貨より強かったものの、円に対して下落しました。ノルウェー銀行は金利を据え置きましたが、引き続き住宅価格が上昇し、失業率も低い水準で安定していることから、今後一層の利上げがあると見られます。

【ロシア】ロシアルーブルは円に対して下落しました。鉱工業生産が力強く回復しつつあり、中央銀行はルーブル高によるインフレの緩和を引き続き試みていますが、その一方で政策金利を8.75%から8.50%に引き下げました。

【ハンガリー】第4四半期GDPが予想を上回る数値を記録し、2月の企業マインド、消費者マインドとも上向いたにもかかわらず、フォリントは円に対して下落しました。

【英国】世論調査が、次の選挙では明確な勝者がいなくなることを示唆したため、政治的な懸念が拡大し、英ポンドは円に対して値下がりしました。これは、英国の財政赤字の縮小に向けて、明確な行動が取られないリスクが増大することを意味します。しかしながら、現在、通貨の水準は、推定される購買力平価を大きく下回っており、何らかの相場変動の行き過ぎが発生したことを示唆しています。

<アフリカ>

【南アフリカ】全般的に経済データが好ましかったにもかかわらず、ランドは円に対して下落しました。12月の製造業生産は前年同月比増加し、第4四半期のGDPデータは、予想を上回りました。

運用概況

ファンド設定後はすみやかに世界銀行債券の組入れ率を高め運用を開始しました。ファンド設定日以降、投資対象通貨のすべてに対して円が上昇した為、基準価額は下落しました。

今後の見通し

2月は、ギリシャの財政問題に対する懸念に端を発し、市場の焦点は、ユーロ圏全体への懸念へと移りました。ギリシャ問題は、多くの国が景気浮揚策の実施にあたって多額の債務を作り、財政赤字を累積させたことを浮き彫りにしています。

グローバル経済の2010年成長見通しは、新興国の経済に牽引されて、依然として強いまです。市場心理が安定するにつれて、焦点は、再度、新興国市場の良好なファンダメンタルズに向かうと思われ、私たちは、中期的に見て、新興国市場に重点を置くポートフォリオ戦略は有効であると考えています。ファンドの先進国市場向けの部分を見ると、私たちは、オーストラリア、ニュージーランド、およびノルウェーのように政府債務の水準が低い国に重点的に投資すると同時に、通貨が評価基準から見て極端に動いたと思われるイギリスにもいくらか投資しています。ファンドの新興市場向けの部分を見ると、私たちはブラジルとトルコに対して戦略的な比重をかけています。ブラジルは、実質金利が高い中、2010年と2011年の予想成長率が約5%と高く、そのファンダメンタルズには強いものがあります。トルコは、ここ数年で着実な進歩を遂げ、ここ数ヶ月の間に、2つの格付け機関から、その信用格付けを格上げされました。トルコ経済は景気後退局面を終えようとしています。また、銀行セクターは規制が厳しく、それが全世界的な危機から銀行セクターを分離してきました。今後のために、私たちは、いくつかの小さな市場への投資機会を調査しており、向こう数ヶ月のうちにファンドへ追加する可能性を検討しています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めるためになされた販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

日興マネー・アカウント・ファンド

ファンドの概要

設定日 2010年2月19日

決算日 原則毎年10月20日

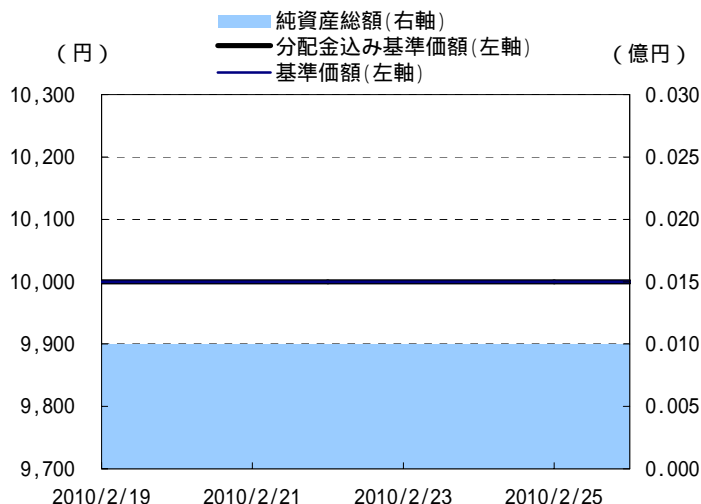
償還日 2019年10月21日

収益分配 決算日毎

運用実績

このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。当レポートのグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

< 基準価額の推移 >



基準価額 : 10,000円

純資産総額 : 0.00億円

< 基準価額の騰落率 >

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-	-	-	-	-	0.00%

基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。
 基準価額は、信託報酬（年率0.5775%（税抜0.55%）以内）控除後の値です。

< 資産構成比率 >

債券	83.1%
うち先物	0.0%
現金その他	16.9%

< 分配金実績（税引前） >

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みメモ

- 商品分類 【S M B C・日興 世銀債ファンド】追加型投信/海外/債券
【日興マネー・アカウント・ファンド】追加型投信/国内/債券
- お申込単位 お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ただし、「日興マネー・アカウント・ファンド」は「S M B C・日興 世銀債ファンド」からのスイッチングの場合に限ります。
- お申込価額 お申込受付日の翌営業日の基準価額
- お申込不可日 【S M B C・日興 世銀債ファンド】取得申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、取得のお申込みの受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。
くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 2019年10月21日まで（2010年2月19日設定）
- 決算日 【S M B C・日興 世銀債ファンド】毎月20日（休業日の場合は翌営業日）。ただし、初回決算は2010年3月23日とします。
【日興マネー・アカウント・ファンド】毎年10月20日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配 【S M B C・日興 世銀債ファンド】毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
【日興マネー・アカウント・ファンド】毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
- ご換金価額 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- ご換金不可日 【S M B C・日興 世銀債ファンド】換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。
くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 課税関係 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。
課税上は、株式投資信託として取り扱われます。
くわしくは、最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

手数料等の概要

- お客様には、以下の費用をご負担いただきます。
- <お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>
- お申込手数料：【S M B C・日興 世銀債ファンド】お申込手数料率は3.15%（税抜3.0%）を上限として、販売会社が定める率とします。
分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
【日興マネー・アカウント・ファンド】ありません。（「S M B C・日興 世銀債ファンド」からのスイッチングのみ）
- 換金手数料：ありません。
- 信託財産留保額：ありません。
- スイッチング手数料：ありません。
- <信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>
- 信託報酬：【S M B C・日興 世銀債ファンド】
純資産総額に対して年率1.255%（税抜1.21%）程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。
信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率〔年率0.945%（税抜0.90%）〕、投資対象となるケイマン籍円建外国投資信託「WBグリーンファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率〔年率0.31%程度〕となります。
受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。
くわしくは、最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
- 【日興マネー・アカウント・ファンド】
純資産総額に対して年率0.5775%（税抜0.55%）以内の率を乗じて得た額となります。
- その他費用：組入る有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
その他費用については、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。
当ファンドの手数料などの合計額については、お客さまがファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
くわしくは、最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 日興アセットマネジメント株式会社
- 受託会社 住友信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）
- 販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
【ホームページ】<http://www.nikkoam.com/>
【コールセンター】0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

お申込みに際しての留意事項

リスク情報

- <S M B C・日興 世銀債ファンド（愛称：世界銀行グリーンファンド）>
- ・当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に債券など値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国通貨建ての債券は、新興国の通貨の為替変動に影響を受けます。新興国の通貨は、為替変動が大きくなる場合があり、基準価額にも影響を与えることがあります。したがって、元金を割り込むことがあります。
 - ・投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。
【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】
ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

<日興マネー・アカウント・ファンド>

- ・当ファンド（マザーファンドを含みます。）は、主に債券など値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。
- ・当ファンドの主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】

くわしくは、最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

【価格変動リスク】

一般に公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動は、残存期間・発行条件などによりばらつきがあります。

【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。
- (以下の流動性リスクは、「S M B C・日興 世銀債ファンド（愛称：世界銀行グリーンファンド）」のみに該当します。)
- ・一般に新興国の通貨は、市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まることがあります。

【信用リスク】

一般に公社債および短期金融資産にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格は下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

【為替変動リスク】

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・新興国通貨建ての債券は、新興国の通貨の為替変動に影響を受けます。一般に新興国の通貨は、為替変動が大きくなる場合があります。

【カントリー・リスク】

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などの基準が先進国とは異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。

その他の留意事項

- ・当資料は、日興アセットマネジメントが「S M B C・日興 世銀債ファンド（愛称：世界銀行グリーンファンド）」および「日興マネー・アカウント・ファンド」の投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、お客さまに当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、最新の投資信託説明書（交付目論見書）などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
 加入協会：（社）投資信託協会
 （社）日本証券投資顧問業協会

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会		
		日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号		